

12. リアルタイム地震情報による建設現場の地震災害リスク低減に関する研究

小池則満

不安定な仮設構造物も多い建設業では、輸送業や製造業、あるいは学校などの教育施設とは異なった地震災害リスクも多い。建設現場へリアルタイム地震情報システムを設置することによってどのような効果を得ることができるか、東京に本社をおく総合建設業の現場代理人の方40名を対象にアンケート調査を行った。図-1を見ると、建設現場へのリアルタイム地震情報システム導入の問題点として、「仮設的現場に対してのシステム設置・撤去の手間や費用」が問題である「4」とする割合が非常に高い。また、総合的にみてリアルタイム地震情報システムは有用と考えられるか、という問いに対しては、図-2に示すとおり約8割の方が、有用「4」、どちらかといえば有用「3」と回答しており、導入については前向きな意見が多かった。したがって、できるだけ安価でかつ工事の進捗に合わせて簡単に撤去、移動、設置が行えるようなシステムを開発することが必要であるといえる。

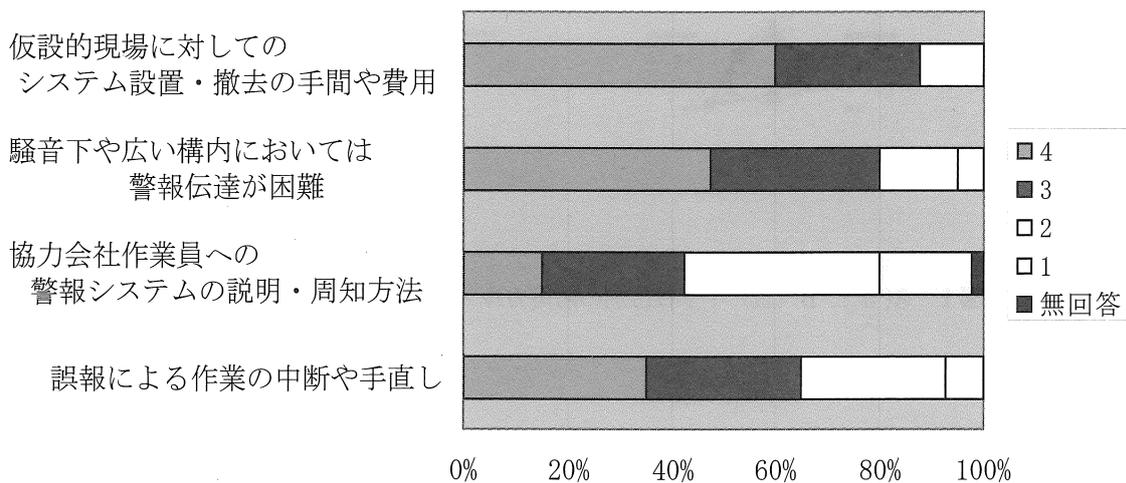


図-1 警報システムを建設現場に導入するにあたり、どのようなことが問題と考えられますか

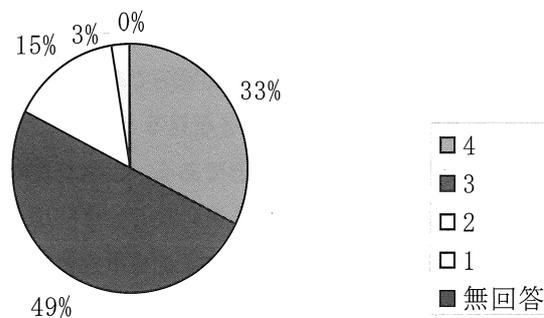


図-2 総合的に見てリアルタイム地震情報システムは建設現場の地震被害軽減に有用と考えられますか